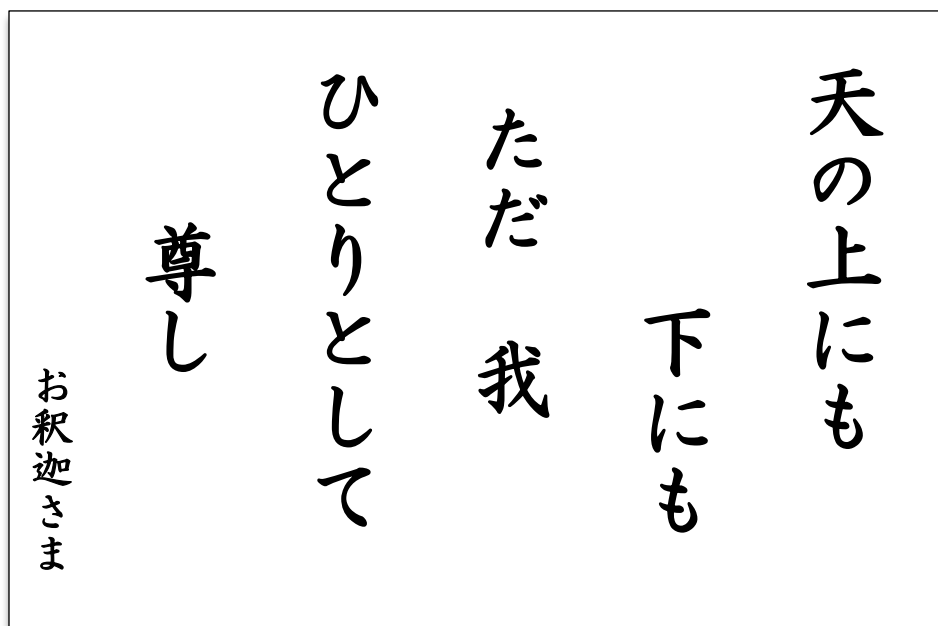


掲示板のことば



2022. 04

この言葉は、のちにブッダとなるゴータマ・シッダールタ（お釈迦さま）が、生まれてすぐに七歩歩き、天と地を指差し発した言葉と伝えられています。いわゆる「天上天下 唯我独尊（てんじょうてんげ ゆいがどくそん）」という言葉です。

もちろん、生まれてすぐに7歩歩くことはできませんし、言葉を発することもできないでしょう。これは、のちの者たちが「この世界にブッダが誕生した」ということの意味を、伝承として語り継いできたものと思われます。

ですから、7歩歩いたことにも意味があるし、言葉を発したことにも意味があるのです。

この言葉は、私は尊い存在なのだと、自分のいのちについて語っているものではありません。生まれてすぐですから、能力や性別や、生まれた場所や、親や、肌の色など姿形に関係なく、生まれたいのちは無条件に、平等に尊いのだということ伝えていなのでしょう。

私というこの一人のいのちが尊いということは、目の前のいのちも同じように尊いし、遠く離れた国に生きるいのちもみな等しく尊いのです。

そして「ただ」ということは、誰とも比べることのないいのちということの意味しています。生まれたいのちは、誰とも比べられることのない、かけがえのない「ひとり」なのです。

お釈迦さまは、いのちの誕生は、ただそれだけで尊いのだと宣言されたのです。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹